

とみWA!

Mar.2026

富山大学ダイバーシティ推進センター
NEWSLETTER

令和7年度 富山大学ダイバーシティ・シンポジウム を開催



日 時：2025年12月24日（水）14時00分～15時30分
開催場所：富山大学 五福キャンパス 黒田講堂ホール
開催方法：対面
講 師：瀬地山 角 先生(東京大学大学院総合文化研究科 教授)

講師プロフィール

10年間2人の子供の保育園の送迎を一手に担い、毎日の夕食作りを担当していたジェンダー論の研究者。子連れで渡米し、父子家庭も経験。日本テレビ「世界一受けたい授業」の東大生100人へのアンケートで東大の人気講義No.1に選ばれたジェンダー論の講義は毎年500人以上で立ち見が出る。NPO法人の理事として保育所の運営にも参画。

12月24日、五福キャンパスにおいて、令和7年度富山大学ダイバーシティ・シンポジウムを開催しました。多様性を尊重し、それぞれが能力を発揮して活躍できる環境づくりを目的としてダイバーシティ推進センターが主催し、学生や教職員、一般を含む166名が参加しました。

シンポジウム特別講演の講師には、東京大学の瀬地山 角教授をお招きし、「笑って考えるジェンダー論—ジャンボ宝くじを必ず当てる方法?!—」と題してご講演いただきました。瀬地山教授は、日本における共働き世帯の男性の家事関連時間の少なさは社会的に問題にすべき水準であるとし、さらに「家事は手伝うものではなく共有し分担するもの」と強調しました。

講演後の質疑応答ではご参加いただいた学生や地域の方から多くの質問があり、盛会のうちに終了しました。昨今求められているジェンダー観を育む有意義な機会となりました。

「多様なSOGIの尊重に関するガイドライン（学生向け）」を作成

※SOGI（読み方 ソジ）Sexual Orientation and Gender Identityの頭字語

昨年度に作成した標記ガイドライン（教職員向け学生対応ガイドライン）の英語版及び学生向けのガイドラインリーフレット（日本語版・英語版）を作成しました。皆様におかれましては、ご一読いただき、多様なSOGIの尊重について今一度理解を深めていただきますよう、お願い申し上げます。

ガイドラインは当センターHP（右下QRコード）よりご覧いただけます。



安心と尊重と自由が、
ここにある。

富山大学は、すべての学生が「にぶんらしく」学び、成長できる環境づくりを大切にしています。
性のあり方は人それぞれ。違いを尊重し、偏見や差別のないキャンパスを目指しています。



富山大学多様な性的指向・性自認（SOGI）に関する基本指針

1. 性的指向（Sexual Orientation）と性自認（Gender Identity）の多様性を認め、偏見や差別、ハラスメントを無くし、すべての学生や教職員の権利が守られるように積極的な啓発活動や研修等を実施する。
2. SOGIに関する個人情報の取扱いには十分に配慮し、本人が望まない第三者への暴露（「アウティング」）が起こらないようとする。
3. 学生や教職員がSOGIに関わる不利な扱いを受けることなく、安心して学修（教育・研究等）や就職活動、就労（人事制度や福利厚生も含む）および就職ができるように、学内環境の整備・点検を行い、必要な措置・制度を構築する。

富山大学多様なSOGIを尊重に関するガイドライン（教職員向け）はこちら

076-445-6239
02 smart@toyama-u.ac.jp
Toyama, 富山県富山市五福2-1-1
〒930-8593

環境づくりのために
安心して過ごすことが
できる

多様な
SOGIの尊重
ガイドライン
（学生向け）



富山大学
ダイバーシティ
推進センター



Grounded in Safety,
Respect and Freedom

At the University of Toyama(UT),
every student is encouraged to learn and
grow as their authentic self.
Here, diversity in gender and sexuality is
respected, and prejudice and
discrimination are not tolerated.



University of Toyama
Basic Policy on
SOGI Diversity

1. The university recognizes the diversity and rights related to SOGI and actively promotes awareness-raising activities and training programs.
2. The university gives careful consideration to the handling of personal information related to SOGI.
3. The university works to develop and revise the campus environment so that everyone can study and work safely on an equal basis.

University of Toyama
Guidelines for Celebrating
SOGI Diversity (For Faculty and Staff)

076-445-6239
02 smart@toyama-u.ac.jp
Toyama, 富山県富山市五福2-1-1
〒930-8593

We would like to thank College News Agency (CNA) for English language editing.

Creating an Environment
Where Everyone Can Feel
Safe and Secure

Guidelines for
Celebrating
SOGI Diversity
(For Students)



University of Toyama
Center for Diversity, Equity
and Inclusion



SOGI

研究者キャリアアップ研修 を開催 2025年12月4日

「研究者は百人百様一ロールモデルに学ぶキャリアのヒントー」と題し、研究職のキャリア形成をテーマに、本学の2名の先生に体験談をお話ししていただきました。どのようなタイミングや機会を経てキャリアアップしたかの具体例や、多忙な中でもインパクトファクターの高い論文誌に採択された際に実践した研究効率アップの方法などをお話しいただきました。

参加者からは、「キャリアアップの実例や支援制度について聞くことができた」「研究室の運営体制や仕事の役割分担についての話が印象に残った」等の感想がありました。リアルな体験談を聞くことで、研究生活の励みとなる活力を生み出せた有意義な研修となりました。



出前講座「キャリア・デザイン」を開催（富山市主催）

2025年12月22日

現在の社会状況を踏まえ、本学の学生が自身のキャリア・デザインについて学ぶための講演会を、富山市男女共同参画センターとの連携事業として例年実施しています。今年度は、一般財団法人女性労働協会の坂本 眞理子氏に「女性活躍推進時代のキャリア・デザイン」と題してご講演いただきました。受講した学生からは「昨今のキャリアデザインとは、一度決めたら一生同じキャリアというわけではなく、何度でも練り直してよいもの、という点が印象深かった」等の感想が寄せられました。



ダイバーシティ・管理職研修 を開催 2026年3月9日

東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 教授、そして独立行政法人国立高等専門学校機構 理事を務めておられる横山 広美先生にご講演いただき、大学経営の中核を担う教職員の皆さまを対象に研修を実施しました。

「なぜ理系に女性が少ないのか」という問いに対し、多様なデータを用いながら社会構造や教育等における要因を挙げられ、さらに大学が実践できる施策をご提示いただき、学びの多いセミナーとなりました。参加者からは「データによって明確に提示された改善案が印象的」「理系へ誘うためには中学生へのアプローチが重要性であることを認識させられ、どのような手段があるか検討したい」等の感想が寄せられました。



煌めく女性リーダー塾（富山県主催）に職員2名が参加

「煌めく女性リーダー塾」は、富山県主催で県内企業等における女性活躍を推進するため、リーダーを目指す女性社員の相互交流と自己研鑽を図り、業種の枠を超えたネットワークを構築するものです。富山大学からは、2名の女性職員が参加しました。

【アクションラーニングコース】 総務部人事課 係長 松本 真理さん
自分自身の強みを見出し、組織にどのように貢献できるのかを考え続けた研修でした。また、異業種の方々と意見交換ができる貴重な機会でもあり、多くの刺激を受けました。研修で得た学びや気づきを今後の業務につなげていきたいと思っています。

【マスターコース】 学務部国際課 課長補佐 小竹 香さん
様々な思考ツールを実践的に学び、日々の業務改善に生かせる気づきを多く得ました。また、他企業の女性リーダーの皆さんとの対話を通じて、新たな視点や共通する課題を知ることができ、刺激的な時間でした。この経験を今後の仕事に役立てていきたいです。

スマート・ポリネーターが理工系の面白さを発信！

理工系の面白さを発信し裾野拡大を目的に活動する、本学の女子学生チーム「スマート・ポリネーター」は、各種イベントでのブース出展だけでなく、SNSで発信するためのコンテンツ作成も行っています。自分の進路に理工系を選択した理由や、理工系の面白さ、自身の研究についてなど、様々なテーマで発信しています。ダイバーシティ推進センターのInstagramでぜひご覧ください。（4ページにQRコード有）



Girls in Control 2026 を後援

2026年3月7日

Girls in Control は、制御工学という工学の一分野を10～15歳の女子を対象に紹介することを目的としたワークショップです。世界中の大学で制御工学を教えている女性研究者の有志が開催しています。今回富山大学工学部にて開催されるにあたって、当センターが後援を行いました。11名の女子小中学生の参加があり、参加者からは「実際に工学を勉強されている方のお話を聞くことができて進路の参考になった」「工学部って楽しそうだなと思った」などの感想が寄せられました。



Work-Life Balance

第11回 介護セミナー を開催

2025年12月2日

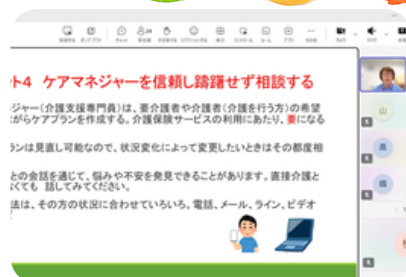
「介護離職をしないために一私らしく、仕事も、介護もー」と題し、介護セミナーを開催しました。介護のための離職は選択肢の一つであり権利であるとしたうえで、事前に備えることによって、望まない介護離職を防止することを目的として開催したものです。

始めに本学の介護両立支援制度の紹介があり、次いで社会福祉士の本田 理恵子氏にご講演いただきました。事例を多く用いて、両立のためのポイントをお話いただきました。参加者からは「事例紹介が多く、まだ未来のことであっても自分ごととして考えることができた」「介護者自身の人生を大切にすること、という本田さんの言葉が印象的」等の声が寄せられました。

介護離職防止は、個人の努力に任せるだけではなく組織全体で取り組むべき課題であり、当センターでは介護相談や介護図書の貸出、介護に従事している研究者への助成等を行っています。今後も、介護と両立して働きやすい環境づくりに努めていきます。



本学の介護両立支援制度やお役立ち情報等をまとめたハンドブックも、ぜひご一読ください。



富大パパ “ほっ”と一息タイム を開催

2026年1月21日

子育てと仕事の両立に日々励む本学のパパ職員をお招きし、ランチ交流会を開催しました。はたしてパパたちには“ほっ”と一息つく場所があるのだろうか…そういった場所がないままに、育児休業取得だけを促進させては、ひずみが生まれるのではないだろうか…そんな思いから、この「ほっと一息たいむ」を開催しています。

今回は、育児休業から復帰したパパ職員と、同じく育児休業を取得した経験のある先輩パパとのよもやま話。話は尽きず、あっという間にランチ時間が終わってしまいました。ママもパパも、日々お疲れ様です。



参加希望者、
歓迎です！



本学の育児両立支援制度やお役立ち情報等をまとめたハンドブックも、ぜひご一読ください。本学男性教職員による育児休業経験談集もございます。



ダイバーシティ・ライブラリー を拡充

これまで介護関連書籍のみの貸出を行っていましたが、ジェンダー平等、SOGI、障がい、ワークライフバランス、国際化等、幅広いジャンルの書籍を拡充しました。本学に所属する教職員を対象に、これら多様性推進に関する書籍の貸出を行っています。書籍一覧および貸出申請は、右のQRコードから。



図書紹介

DIVERSITY
LIBRARY

富大初の女性事務局長、鈴木 規子 理事・事務局長にインタビュー

大学とダイバーシティに関しては、まずなんといっても変化のスピードが大きく、将来予測も困難な世界で、複雑化/高度化した課題の解決のためには様々な知の結集が不可欠！学長はよく「団体戦」という言葉でそのことを言われるけれど、大学において多様な構成員の集結が求められるいちばんわかりやすい理由はこのことだと思います。

それに加えて、大学は世の中のジェンダー規範を映し出すとともに、それを再生産する性質も持っている、といわれるけれども、それはジェンダーに限らず、ダイバーシティの状況、と置き換えても当てはまると思っています。その観点から思い起こすと、私たち大学の事務職員は直接学生を教えるわけではないけれども、まさに社会に出ていく一手手前の学生たちのすぐ近くで、女性も男性も、また例えば障がいがあるなど多様なバックグラウンドを持つ個々の職員それぞれが、その個性や力を発揮して、楽し気にいきいきと働いている姿を示すことは、案外重要なのではないかと最近思っています。

とみダイバー第2号で紹介された稲田さんが、学生時代にご自分と同じように吃音をもつ事務職員と交流し、それを研究や進路選択に活かして、いまはご自身が富山大事務局で活躍しているお話も、そのような重要性を感じさせるものでした。また本学の事務局では多くの女性管理職が活躍していることが、若い女性の県外流出がある種の危機感をもって語られる当地において、若者が、県外に出ずとも自分が将来活躍している姿を思い描けるようなことに、少しでもつながるといいな、などと思っています。（後略）

グッドジョブチームについて

本学は平成21年度より「キャンパスクリーンチーム」を五福キャンパスに設置し、障がいを持つ方の雇用推進を行ってきました。そして、令和7年度からは高岡キャンパスにも拡大し、雇用の推進をさらに進めているところです。そんな中、障がいを持つ方の事務職での雇用を目的とした「グッドジョブチーム」が令和7年度に新設されました。現在、室長1名、コーディネーター1名、ジョブスタッフ定員4名で業務を行っています。富山大学は、地域と世界に向かって開かれた大学として、ダイバーシティ推進宣言を行っており、それぞれが自らの能力を発揮し、皆が生き生きと活躍できる教育・研究・職場環境づくりを進めることを宣言しています。グッドジョブチームは、ダイバーシティ推進宣言を体現する本学の取組みの一つ。インクルージョンを推進し、多様な人が働く豊かな職場環境を創るための大切な役割を担っています。グッドジョブチームのスタッフは様々な障がいを抱えていますが、その障がい特性に対して個別に配慮し、業務のしやすい環境を作ること、皆能力を発揮することができています。（後略）

※とみダイバーコラム全文は当センターHPでお読みいただけます。



助成報告

今年度実施した助成制度のご利用状況です。

・成果公開費助成制度（女性研究者対象）	2名	・研究サポーター制度	9名
・国際学会参加費助成制度（女性研究者対象）	6名	・学会等参加時に係る休日保育利用料補助制度	4名
		・大学入学共通テスト時の保育支援	2名

なお、令和8年度の女性研究者対象助成制度の公募は7月中旬を予定しております。

※研究サポーター制度・学会等参加時に係る休日保育利用料補助制度は、3月の公募で満枠となりましたので、追加公募は行いません。